



JA東京むさしの 自己改革に向けた取組み

JAグループでは



「食と農を基軸とした地域に根差した協同組合」として
農業者の所得増大や地域の活性化を実現するために
様々な自己改革に挑戦しています。



JA東京むさし
カワセ
ムーちゃん
© JA東京むさし



JA東京むさし

J A 東京むさしの販売力と農業生産力の強化に向けた取組みをご紹介します。



販売力強化に向けた取組み



農産物直売所 ファーマーズ・マーケットの充実

当JA管内の各市にある5店舗のファーマーズ・マーケットでは地場産農産物の充実をはじめ、他県JA特産品の販売や店舗新装、土日営業の開始、各種イベントの開催や店舗Facebookの開設による情報発信の強化など、来店いただける魅力ある店舗へ向け様々な取組みを行っています。



販売専任担当課長を配置し、 新規販路の開拓

地場産農産物の販路拡大を目指し、平成28年度より販売専任担当課長を配置。商談会などで積極的に交渉を重ね、新規販路の開拓を進めています。

平成28年8月から三鷹駅構内のニッポンスタンダードや東小金井駅の九州屋などで新たに地場産農産物の販売を始め、平成29年11月からはスーパーマーケットのサミットやマックスバリュなどでの販売を始めました(平成30年3月末現在、新規取引開始件数9件)。今後も地場産農産物の販路を拡大し、販売力の強化を進めます。

買取り販売の開始

生産者から農産物を買取り、都内スーパーマーケットなどでの販売を始めました。新鮮な地場産農産物を買えるということでご好評いただいています。出荷した農産物をJAが全量買取るので生産者は売れ残りへの不安も無く、農業所得向上の支援として今後も買取り量の拡大を目指します。

プライベートブランド商品の 開発、販売

地場産農産物を使った当JAのプライベートブランドである「ムーちゃん'sキッチン」。地場産農産物の消費拡大を図るため平成25年に最初の商品が発売され、現在は7つの商品を各ファーマーズ・マーケットで販売しています。平成29年10月には野菜カレーをリニューアルし好評につき完売、平成30年7月に再販売しました。



農産物の高付加価値化の実施

高糖度なキャベツのスイーツキャベツや、当JA管内が栽培発祥の地である東京うどやブルーベリー、キウイフルーツの東京ゴールドなどを普及させることで高付加価値化と有利販売を目指しています。



東京うど
東京ゴールド



学校給食への地場産食材の供給拡大

各市の学校給食に地場産農産物の供給を拡大しています。子どもたちへの安全・安心な給食の提供を支え、生産者には近くて安定した販売先の確保へとつながります。JAは生産者と給食関係者(栄養士・調理師)とをつなぎ、食材の生産から納品までスムーズに進めるお手伝いをしています。

生産力強化に向けた取組み



農業の担い手に出向くJA担当者として 「TAC」を新設

平成29年度から本店指導経済部に農業支援課を新設。平成17年度から実施している営農支援事業に加え、営農相談体制の強化として農業の担い手に出向くJA担当者を3名配置。平成30年9月から各地区にもTACを配置しています。



タブレット端末による営農情報を共有

平成28年度より農業に関する実用的なデータベースを検索できるタブレット端末を導入。最新の栽培技術や病害虫の防除対策などが検索可能で、これまでのJA担当者個人の営農知識や経験値による営農相談から、最新の営農情報をもとにした営農相談活動を行っています。



生産資材などコスト削減

農産物の生産に必要な生産資材の銘柄を集約することで、肥料69品目、農業ほか39品目の値下げをしました。今後も引き続き生産資材コストの削減に取り組めます。



専任職員による 農機センターの設置・維持

平成10年のJA合併以前から設置されていた農機センターは、平成24年の本店新装に合わせ移転。現在は修理専任の職員を配置して、引き続き農機修理の迅速な対応に努めています。



JA東京むさし独自の農業資金融資で 生産者を支援

当JAオリジナルの農業支援資金融資は、農業経営に必要な農業施設や農機具などの購入資金を実質金利負担無しで融資し、農業生産力向上を支援します。平成28年度からの2年間で50件、総額2億1千万円を支援し、生産性の向上を後押ししています。

3 地域の皆さまへ向けた取組み



食育活動、農業体験、職場体験の受入れ

小学校などに出向いて食育授業を行ったり、畑に子どもたちを招いて農業体験をしたり、ファーマーズ・マーケットでの職場体験を受け入れるなど、地域の食や農について知ってもらうための活動を行なっています。



収穫体験付き定期積金で ブルーベリーの収穫体験

JAならではの金融商品として、収穫体験の特典が付いた商品を平成21年から取り扱っています。ブルーベリーを収穫できる定期積金である「ブルーベリー積金」は、お子さまが夏休みの時期に気軽に収穫を楽しめるということもあり、人気が定着しています。



都市農業体験ツアーの実施

日頃、農業と親しむ機会の少ない地域の皆さまを対象に、地域の農産物の収穫体験や生産者との交流を通じて農業への理解を深めてもらうことを目的とした都市農業体験ツアーを実施しています。家族で土に触れ、収穫体験を楽しみ、地場産の農産物を使った昼食を満喫してもらうことで都市農業への理解の醸成を図っています。



JA東京むさし

発行/東京むさし農業協同組合



カワセミのムーちゃん ツイッター



JA東京むさし フェイスブック

検索

ホームページアドレス <https://www.jatm.or.jp>